

鹿島市総合教育戦略会議（第 27 回） 議事録（概要版）

1 開催日時 令和 7 年 1 月 27 日（月）9 時 27 分から 10 時 35 分まで

2 開催場所 鹿島市庁舎 3 階庁議室

3 出席者等

- ・法定構成員 松尾市長、中村教育委員会教育長、岡田教育委員会委員、山口教育委員会委員、吉田教育委員会委員
- ・市長部局 鳥飼副市長、川原総務部長、白仁田課長
事務局（総務課職員 伊東、眞崎）
- ・教育委員会部局 江頭教育次長兼教育総務課長、加藤指導主事
- ・傍聴者 なし

4 協議事項 教育施設について

- ・給食センターについて
- ・七浦小学校音成分校について

5 その他

司会：眞崎

1 開会

2 市長あいさつ

松尾市長 教育委員の皆様には、日ごろから本誌の教育行政にご理解とご協力をいただきまして感謝を申し上げます。この会議は、市長部局と教育委員会が意思疎通を図りながら、本市の教育に関わる課題やその対応について協議をし、連携をしていく会議であります。昨年度は、浜小学校で理科の授業を参観しました。実際に子どもたちがタブレットを用いて理科の実験を行っている姿をみせていただいた後に様々な意見交換をさせていただきました。今回は、「教育施設について」という内容で協議を行いたいと考えています。議会からも給食センターのことについていろいろな質問がっておりますし、少子化の中で子供たちの生徒数も減ってきておりまして、学校のクラス編成自体がいろいろ今課題等が見えてきました。お互いに意識を共有しながら進めていければなというふうに思っているところです。今日の会議よろしくお願いいたします。

3 協議事項

・教育施設について

議長（松尾市長） 今回のテーマ、教育施設について、としておりまして、鹿島市の課題また全国各な課題でもございます人口減少、生徒数の減少、また施設もだいぶ老朽化も進んでいます。今説明してもらったように、大体鹿島市のいろんな施設は 50 年代に立ったのが結構あります。40 年ぐらい経過してきておりまして、どうするかというのが一つ課題ですし人口についても 3 万 8000 人が 2 万 7000 人で 1 万人以上減少してきています。そういうことをいろいろ考えて、このままの施設整備のあり方でいいのかと、10 年後もっと先を見据えた施設整備のあり方を考えていかないとということなのです。

【各施設について】

- ・ 公民館については、稼働時間も勘案しながら、例えば小学校の空き教室を活用するということも考えられる。
- ・ 学校の施設の中でやっていくのもいいと考える。既存の施設を活用しながらやっていくのは十分に考えられる。
- ・ 公民館はかなり古い、例えば各地区に公民館があるというのも、どれだけ年間稼働しているのか。例えば小学校の、今生徒が減ってきて空き教室があって、そういうものを活用できないか。
- ・ 一つの選択肢として考えられる。公民館の職員は委託しており、この施設の中で一緒にやっていくというのはいいのかなと、逆にお互いにいろんな交流ができて、とってもいいのかなというふうに思う。既存の公民館を今から新しく考えるのではなく今ある学校施設で、空き部屋を利用するのは十分考えられる。

【給食センターについて】

- ・ 民間のデベロッパーとか、信用のおける会社とリース料をお支払いする。ということで財源確保を解決しないといけない。
- ・ 施設整備は 1 カ所ではなくて総合的に市の施設をどうしていくのか考えてということになる。
- ・ 給食センターについては厳しい労働環境だが人員確保できているのか。
- ・ 調理・配送については、シダックスに委託して、民間の企業がやっている。調理員や配送に携わる方の人数については特に問題ないということで聞いている。放課後児童クラブでも、お世話になっているところである。今、全体的に人手不足みたいな話もあるが、今のところは、受けていただいたところ。

- ・ 鹿島の場合は調理と経営の方とは全く別で教職員の学校栄養職員っていう別に職員 2 人いる。先ほどあったような配送・調理とは別で献立とか発注とか全てこちらの方が行っている。
- ・ 最近で言えば白石町の給食センターが一番新しくできたと思うが、そちらの方も何か参考とか計画、どういうオペレーションされたのかを考慮して意見交換とかあるのか。
- ・ 白石町の方にはお伺いをしているところ。
小城市にも聞いていく必要があると思っているところ。
県内にいくつか事例あり情報収集をしていく必要があると思っている。

【七浦小学校音成分校について】

- ・ 鹿島市の方で複式学級のノウハウがまだないということだが、先生の中には今までの教員生活の中で複式学級をされたことのある先生はいらっしゃるか。
- ・ 2 校目が島だったので、複式の経験をさせてもらっている。また近隣でいくと、例えば嬉野市の五町田小学校の谷所分校とか、大野原小中学校が複式学級で今されてるところがあるので、そこを経験されている先生方っていうのは一定程度いる。鹿島市の中ではこういう経験がないので、例えばどういう 1 年間の計画カリキュラムを立てて教えていくかというのを、資料等がまだないので実際行っているところに聞いたりだとか、見学させていただいたりしながら、進めていこうということで今もう既に動いているところ。
- ・ 複式学級があって支援員の確保というのがちょっと非常に難しいということで、支援員の方は教員免許を持つっていうことが前提と思うのですが。
- ・ やはり免許を持たれてたり、教職の経験がある方の方がよりよい支援ができるというところ。今のところ学習指導の支援員が、教職経験もある教師免許を持たれていたというところで、その方が適任。その方がやっていただけるっていうことを前提なので、いっちゃらなくなって次を探すというのは非常に困難と考えられる。教職員数の不足もあるので。
- ・ その場合、例えば各地域にいろんな個人でやってらっしゃる学習塾とか、そういう方たちに依頼をするとか、可能なのか。
- ・ 可能ではあると思うが、その中からより良い方に委託すると。

【その他】

- ・ 数年前から感じていたことが他の全国的というか福岡、鳥栖市、嬉野市もされているプールの授業の民営化。教育委員になって施設訪問して、各学校のプールも見

させていただいた。これからもお金がだいぶかかるような状態で、水泳の授業数も少なくなっているということで、民営化はまだ考えてはいらっしゃらないでしょうか。

- ・ 嬉野市はスイミングクラブがあってもいいんですけど、おそらく受け入れ一杯だということのようです。
- ・ 嬉野市も、移動の時間が学習時間等に圧迫しないようにユートピアスイミングを利用されているのは旧塩田町の学校のみということ。たぶん他の嬉野市の学校がプールまで通う時間がちょっと学習時間を圧迫するというので、現在そのような利用はないと。
- ・ 市内のプールがたくさんある、その中でプールの数を減らして、そこに委託し、その場合は学校の先生の時間も増えるという。2時間まとめて授業をするという、例えば、北鹿島小学校に他の学校が授業に来るというその様なスタイルもどうかと、難しい問題はあると思いながらもちょっと簡単に言うてしまうんですけど。
- ・ 今度、七浦小の授業で来年度、B&G の利用の計画をしています。2時間続きにしたりしながら、考えております。

議長（松尾市長） 今日はいろんな施設について、お諮りしていろいろお話をして、いろいろ課題が出てきてるなというのが我々としても、感じたところです。

ありがとうございました。皆様方からの貴重なご意見を次に繋げてまいりたいと思います。それでは以上をもちまして今日の会議を終了させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

（ 1 0 : 3 5 ）